

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
専門学校 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ	昭和54年5月1日	水野 倫理	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-29-2 (電話) 03-3499-0350				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人水野学園	昭和58年4月1日	水野 孝彦	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-29-2 (電話) 03-3499-0350				
目的	ジュエリーデザイン科ジュエリープロダクトコースは、ジュエリー・アクセサリー業界において、商品開発(企画・デザイン・製作)ならびに商品販売、および関連する商品知識を持った人材を育成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	宝石専門課程	ジュエリーデザイン科 (ジュエリープロダクトコース)	平成25年文部科学省告示第2号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2272	40	32	2496	0	136
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
60人	57人	4人	2人	6人			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 有 ■成績評価の基準・方法 評価基準は、90点以上をA、80点以上90点未満をB、70点以上80点未満をC、60点以上70点未満をD、59点以下はF(不可)とする。また評価には値しないが習得レベルに達したと判断された場合はPとする。成績評価は、課題物評価、試験等により行う。			
長期休み	■学年始:4月1日～4月14日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月20日～1月10日 ■学年末:2月16日～3月31日		卒業・進級条件	・学校長および教職員による卒業・進級判定会議において認定されること。以下の①～④を総合的に判断して認定する。 ①課題物評価 ②出席率 ③授業態度 ④成績 ・学費を完納していること。			
生徒指導	■クラス担任制 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話・メールでの連絡、担任面談、自宅訪問、保護者連絡 など		課外活動	■課外活動の種類 国内外コンテスト参加、学園祭、海外研修旅行 など ■サークル活動 なし			

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 (株)ミキモト装身具、(株)emデザイン、(株)A&S など</p> <p>ジュエリー業界、ファッション業界</p> <p>■就職率^{※1} 100 %</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 77 %</p> <p>■その他 海外留学、進学、オリジナルブランドの立ち上げ など (平成 29 年度卒業者に関する平成30年5月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定等	<p>貴金属装身具製作技能検定【3級・2級】</p> <p>ジュエリーコーディネーター検定【3級・2級】</p> <p>水野学園 職業技能検定 CAD部門【3級・2級・1級】 ジュエリー部門 ・デザイン【3級・2級・1級】 ・メタル【3級・2級・1級】 ・WAX【3級・2級・1級】</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 6 名 平成29年4月1日 在学者 平成30年3月31日 在学者</p> <p>■中途退学の主な理由 経済上の理由、健康上の理由、履修上の理由 など</p> <p>■中退防止のための取組 担任制、出席状況・課題提出状況を書いた保護者通知の発送(年2回)、学校長メールアドレスの全学生公開、専門医によるカウンセリング、学生相談、個人面談 など</p>	■中退率 8.5 %	<p>71 名 (平成29年4月5日 入学者を含む) 65 名 (平成30年3月15日 卒業者を含む)</p>
ホームページ	URL http://hikohiko.jp		

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ジュエリー・アクセサリー業界において、商品開発(企画・デザイン・製作)ならびに商品販売、および関連する商品知識を持った人材を育成するために、同業界の企業と連携して以下の①～④を踏まえた教育課程の編成を行う。具体的には、新たな科目の設定、既存科目の内容・教育手法の改善、教材の開発、ジュエリーデザイナー、製作者、販売スペシャリストとして必要となる知識や技術など実践的かつ専門的な職業教育の実施に向けた協議・検討することを基本方針とする。

- ①新商品企画に関するマーケットリサーチや商品開発力の育成
- ②各種PCソフトや3DCADデザイン技術を含めた、商品デザイン力の育成
- ③オーダーメイドから量産までに対応する商品製作の技術力の育成
- ④商品の販売に関わる流通や店舗企画力、顧客対応力の育成と、関連する商品知識の習得

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成30年5月1日現在

名前	所属
西田 良洋様	一般社団法人 日本ジュエリー協会 理事
松本 薫 様	一般社団法人 日本時計輸入協会 専務理事
飯嶋 薫 様	一般財団法人 ファッション産業人材育成機構 理事
大川 知子様	実践女子大学 生活科学部 生活科学科 生活環境学科 准教授
横山 裕 様	株式会社桑山 デザイナー
林 繁 様	ブライティングジャパン株式会社 時計技術部技術トレーナー
大澤 重仁様	株式会社シャミオール 代表取締役社長
野村 俊一様	有限会社野村製作所 代表取締役社長
水野 倫理	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 学校長
酒匂 博	学校法人 水野学園 教育部長
松山 英一	学校法人 水野学園 総務部長
斎藤 良	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ ジュエリーデザイン科(ジュエリー系) コース責任者
飯塚 ひろ子	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ ジュエリーデザイン科(ジュエリー系) コース責任者
大友 宏幸	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ ジュエリーデザイン科(ウオッチ系) コース責任者
川島 謙二郎	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ シューメーカー科/バッグメーカー科 コース責任者

(開催日時)

第1回 平成29年8月28日 14:40～15:30

第2回 平成30年3月5日 14:00～16:40

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

多様化するジュエリーマーケットの現状を把握し、業界において即戦力をもった人材を育成するために、連携する企業より商品の企画から製品化までの流れを享受ならびに学生作品の評価を受けることを基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン造形実習Ⅱ-2	① リフォーム及びオーダーメイドジュエリーマーケットの現状についての知識習得 ② 商品企画およびプレゼンテーションの実践的な手法を習得	株式会社ジュエリーアセットマネジャーズ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

・実務に関する知識、技術、技能などの向上のため、同業界から各職種の専門家による実践的技術・知識の研修を規定に則して計画的に実施する。

・指導力の習得・向上のため、人材開発や教育指導力の教育専門機関による研修を規定に則して計画的に実施する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成30年5月1日現在

名 前	所 属
西田 良洋様	一般社団法人 日本ジュエリー協会 理事
松本 薫 様	一般社団法人 日本時計輸入協会 専務理事
飯嶋 薫 様	一般財団法人 ファッション産業人材育成機構 理事
大川 知子様	実践女子大学 生活科学部 生活科学科 生活環境学科 准教授
吉田 昌充様	東日本ハンドバッグ工業組合 理事長
横山 裕 様	株式会社桑山 デザイナー
堀田 峰明様	株式会社ホッタ 取締役社長
林 繁 様	ブライトリングジャパン株式会社 時計技術部技術トレーナー
大澤 重仁様	株式会社シャミオール 代表取締役社長
野村 俊一様	有限会社野村製作所 代表取締役社長

(学校関係者評価結果の公表方法)

http://hikohiko.jp/about_info

5. 情報提供

(情報提供の方法)

http://hikohiko.jp/about_info

授業科目等の概要

(宝石専門課程ジュエリーデザイン科 ジュエリープロダクトコース) 平成30年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○				デザイン基礎実習Ⅰ-1 (パース技法基礎Ⅰ)	透視図法の基本を習得し、ジュエリーレンダリングの基礎を学習する。	1前	40				○	○		○		
○				デザイン基礎実習Ⅰ-2 (デザイン展開 基礎)	具象物をモチーフにし、ジュエリーにおけるデザイン展開の方法や、二面図による製図表現を学習する。	1前	32				○	○		○		
○				デザイン基礎実習Ⅰ-3 (パース技法 基礎Ⅱ)	透視図法を応用し、ジュエリーレンダリングにおける基礎とその表現方法を学習する。	1前	32				○	○		○		
○				デザイン基礎実習Ⅰ-4 (ジュエリーデザイン基礎Ⅰ)	ジュエリー独特の立体表現を理解し、様々なデザインリングの表現方法を学習する。	1後	48				○	○		○		
○				デザイン基礎実習Ⅰ-5 (宝石表現)	ジュエリーデザイン画の描き方や、宝石表現方法の基礎を学習する。	1後	40				○	○		○		
○				デザイン基礎実習Ⅰ-6 (リサーチからのデザインⅠ)	ジュエリーショップをリサーチし、設定ターゲットに合わせたセットジュエリーのデザイン展開や、プレゼンテーションを学習する。	1後	64				○	○		○		
○				宝石研磨	原石のカットからポリッシングまでの基礎を学習する。	1後	24				○	○		○		
○				コンピューター演習Ⅰ-1 (CADによるリング制作 基礎)	CADソフトの基本的な操作と、出力した立体造形物の制作工程の基礎を学習する。	1通	32			○		○		○		
○				メイキング基礎実習Ⅰ-1 (リング制作 基礎)	基本形状のリング制作を通して、ジュエリーメイキングの基礎技法と使用工具の名称や取り扱いを学習する。	1前	96				○	○		○		
○				メイキング基礎実習Ⅰ-2 (ワックス造形 基礎)	ワックス素材の種類や特性を理解し、ワックスによる原型制作の方法および鑄造の基礎知識と仕組みを学習する。	1前	72				○	○		○		
○				メイキング基礎実習Ⅰ-3 (覆輪留め技法)	覆輪留め技法による1個石リングの制作工程および仕上げ方法を学習する。	1前	32				○	○		○		
○				メイキング基礎実習Ⅰ-4 (爪留め技法)	爪留め技法による1個石のペンダント制作を通して、パチカンを含めた制作工程および仕上げ方法を学習する。	1後	56				○	○		○		
○				メイキング基礎実習Ⅰ-5 (立体造形 基礎Ⅰ)	粘土・WAXの2種類の材料を使用し、具象物を模刻することで造形力の基礎を学習する。	1前	32				○	○		○		
○				メイキング基礎実習Ⅰ-6 (立体造形 基礎Ⅱ)	紙を材料とし、切る・折り曲げるなどのシンプルな技法のみを用いた立体造形の可能性を探求し、その造形表現を学習する。	1前	32				○	○		○		
○				メイキング基礎実習Ⅰ-7 (カービング技法 基礎)	硬質発泡スチロールを材料とし、カービング技法を用いた立体造形を学習する。	1後	40				○	○		○		

○		メーキング造形実習Ⅰ-1 (異素材の探求)	貴金属以外の素材や様々な技法の可能性を探求し、ジュエリーアイテムにおける展開方法と表現方法を学習する。	1 前	64					○	○	○				
○		メーキング造形実習Ⅰ-2 (ブローチ制作 基礎)	ブローチやブローチピンの種類や構造、その基礎的な制作工程および仕上げ方法を学習する。	1 後	32					○	○	○				
○		メーキング造形実習Ⅰ-3 (オリジナルジュエリー制作Ⅰ)	各々の表現意図および制作条件等を考慮した上での作品制作を学習する。	1 後	96					○	○	○				
○		メーキング造形実習Ⅰ-4 (プレートからのジュエリー制作)	切り回し、擦り合わせ、ロウ付け作業などの基本的な技法を用いた、平面素材からのジュエリー制作を学習する。	1 前	32					○	○	○				
○		メーキング造形実習Ⅰ-5 (ブレスレット・ピアス制作)	線の構成によるブレスレット及びピアスの制作工程を学習する。	1 後	64					○	○	○				
○		メーキング造形実習Ⅰ-6 (オリジナルジュエリー制作Ⅱ)	自分で研磨した石を石留めしたオリジナルジュエリー制作を通して、素材の形や特性をいかしたデザイン・造形表現を学習する。	1 後	72					○	○	○				
○		宝石学A-1 (宝石の基礎知識)	宝石の基礎知識。硬度や輝きなどの宝石に関係する基礎的な物理・光学的性や、宝石を種類別にそれぞれの知識について学習する。	1 通	40		△			○	○	○				
○		学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	1 通	40					○		○	○			
○		スピードテスト・基礎知識テスト	基礎的なジュエリーの制作・デザイン・宝石・ビジネスに関わる知識を学習する。	1 後	12		△			○	○	○				
○		特別セミナーⅠ	本学創立の歴史や学園の遍歴を通してその学園理念を学習する。	1 後	4		○			○		○				
	○	自主研修／自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	1 通	136					○	○	○				
○		デザイン基礎実習Ⅱ-1 (PCトレーニング)	展示会に出展する作品のデザインを、精度の高い図面及び制作行程仕様書作成方法を学習する。	2 前	32					○	○	○				
○		デザイン造形実習Ⅱ-1 (新作企画デザイン)	既存ブランドの新商品開発の流れ、ジュエリーデザイン提案を学習する。	2 前	32					○	○	○				
○		デザイン造形実習Ⅱ-2 (リフォームジュエリーデザインⅠ)	リフォームデザインの実際の流れと、商品開発企画およびプレゼンテーションの実践的な手法を学習する。	2 後	32					○	○	○				○
○		デザイン造形実習Ⅱ-3 (商品の企画提案Ⅰ)	テーマに沿ったジュエリー商品群のデザイン提案を学習する。	2 前	32					○	○	○				
○		デザイン造形実習Ⅱ-4 (プロモーション)	商品やターゲットのイメージに沿ったビジュアルイメージを制作し、効果的な販売促進を学習する。	2 後	40					○	○	○				
○		デザイン造形実習Ⅱ-5 (オーダージュエリー)	インタビュー形式でターゲットの好みやニーズを探り、特定の個人に向けたジュエリーデザインを学習する。	2 通	40					○	○	○				
	○	デザイン造形実習Ⅱ-7 (ターゲットを絞ったデザイン提案)	購買層を設定し、ターゲットに沿ったジュエリー提案を学習する。	2 前	32					○	○	○				

○	デザイン造形実習Ⅱ-8 (リフォームジュエリーデザインⅡ)	お客様の予算、好み、ニーズに合わせたり リフォームデザイン提案を学習する。	2 後	32					○	○	○		
○	デザイン造形実習Ⅱ-9 (商品の企画提案Ⅱ)	テーマに沿ったジュエリー商品群のデザイン 提案を学習する。	2 通	64					○	○	○		
○	デザイン造形実習Ⅱ-10 (ブライダルジュエリー)	ブライダルジュエリー(エンゲージリング、 マリッジリング)のデザインポイントを 学習する。	2 後	32					○	○	○		
○	メイキング基礎実習Ⅱ-1 (量産テクニック)	量産品制作の基本となる効率の良いジュエ リーの磨き、石留め技法を学習する。	2 前	32					○	○	○		
○	メイキング基礎実習Ⅱ-2 (ワックス技法)	WAX素材の種類別の使い分けを学習し、用途 に合わせた原型制作を学習する。	2 前	32					○	○	○		
○	メイキング基礎実習Ⅱ-3 (ワックス造形 応用)	デザインに沿ってWAX素材を使い分け、効率 的な加工プロセスを学習する。	2 前	32					○	○	○		
○	メイキング基礎実習Ⅱ-4 (3Dモデリングからの制作)	CADソフトを使用しパーツを組み合わせた ジュエリー制作を学習する。	2 後	32					○	○	○		
○	メイキング基礎実習Ⅱ-5 (石留め基礎技法Ⅰ)	工具加工、宝石の彫留め技法を学習する。	2 前	32					○	○	○		
○	メイキング造形実習Ⅱ-2 (貴金属ジュエリーⅠ)	ゴールドジュエリーの制作。貴金属の石留 め、磨きのプロセスを学習する。	2 通	128					○	○	○		
○	メイキング造形実習Ⅱ-3 (展示会作品制作)	販売会を前提とした量産方法、及び原型製 作技法を学習する。	2 後	96					○	○	○		
○	メイキング造形実習Ⅱ-4 (ターゲットを絞ったジュエリー 制作)	お客様の好みやニーズに合わせたジュエ リー提案を学習する。	2 前	32					○	○	○		
○	メイキング造形実習Ⅱ-5 (貴金属ジュエリーⅡ)	プラチナジュエリー制作。貴金属の石留 め、磨きのプロセスを学習する。	2 通	64					○	○	○		
○	メイキング造形実習Ⅱ-6 (オリジナルジュエリーⅠ)	設定テーマ、ターゲットに合わせたジュエリー制 作を学習する	2 前	32					○	○	○		
○	メイキング造形実習Ⅱ-7 (オリジナルジュエリーⅡ)	設定テーマ、ターゲットに合わせたジュエリー制 作を学習する	2 後	32					○	○	○		
○	宝石学A-2 (ダイヤモンドの基礎知識)	ダイヤモンドに関する知識と実技実習。ダイヤモ ンドの全般的な知識と顕微鏡等の器具を用 いた評価法の実技実習を学習する。	2 通	40			△		○	○	○		
○	ビジネス講義Ⅱ-1 (企業セミナー)	ジュエリー業界、ファッション業界の様々 な分野の方の話を直接聞く事により、業界 の実際を広く学習する。	2 前	32			○		○	○	○		
○	ビジネス講義および実習Ⅱ-1 (ビジネススキル)	ジュエリー業界への就職を前提としたビジ ネス講義および実習。マーケティングから ビジネスマナー、販売テクニックの学習を する。	2 前	64			△		○	○	○		
○	ビジネス講義および実習Ⅱ-2 (PCスキル)	各ソフトのアプリケーションを用いて画像 加工、文書作成等の基本操作を学習する。	2 後	32			△		○	○	○		

○		ビジネス講義および実習Ⅱ-3 (ショッププランニング)	自分のジュエリーショップの店舗設計を行う。内装デザイン、ディスプレイ、商品展開から、立地、収支等の経営知識を学習する。	2 後	48		△	○	○	○			
○		学外研修	ジュエリー・宝石関連等の販売会・美術館・展示会場等の見学または参加を通じて、デザイン・制作知識および生産・流通・販売等の業界知識について学習する。	2 通	32			○		○	○		
○		特別セミナーⅡ	卒業後の企業就職や独立に向けて、社会人としてのモノ作りとの取り組み方について学習する。	2 後	4		○			○	○		
○		卒業テスト	ジュエリーの制作・デザイン・宝石・ビジネスに関わる知識を試験を通して確認する。	2 後	4					○	○	○	
	○	自主研修／自由制作	習得した技術をさらに向上させるため、自主的に研究・学習する。	2 通	136					○	○	○	
合計					58	科目		2704	単位時間(単位)		

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件＝卒業までに必要な履修科目をすべて履修していること。 必修科目のすべてを履修していること。自由選択科目は対象外。 履修方法＝課題物評価では『F』以外、試験では70点以上で履修となる。		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	26 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。